

第71期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。



RIX リックス株式会社

証券コード 7525

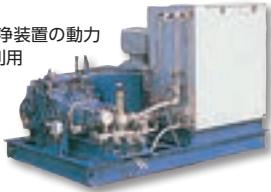
事業紹介

商品

圧力発生機

ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

異種金属板を接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする
外部からダストが侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの加硫機に使用



製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、BGA等)の製造工程に使用されるフラックスを除去し、純水にて精密仕上げ洗浄を行う装置



NC高圧洗浄機(ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高圧水を利用した部品の深穴の金属バリ取装置

付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設備などに水や研磨剤などを供給する回転継手



工作機械用ロータリージョイント



マシニングセンタでクーラント液をスピンドルから噴射する用途に使用する回転継手

営業区分

リックスはお客様のニーズに迅速・的確に対応できる顧客密着型の「メーカー商社」という業態です。

商社機能

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

メーカー機能



ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第71期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第71期報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦賢治

課題解決型の「メーカー商社として」 世界の産業界に貢献します

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は1.0%増の337億63百万円、営業利益は5.6%減の16億76百万円、経常利益は6.9%減の17億82百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3.5%減の10億87百万円となりました。

当期の世界経済は年度前半に米国経済の足踏みや、中国経済の失速懸念及びBREXITショックによる金融市場の混乱等を背景に大幅に減速したものの、年度後半は米国経済の持ち直しや、BREXITショックへの主要国中銀による迅速な

対応等によって、緩やかに持ち直しが進みました。一方、日本経済は踊り場から脱することができず、個人消費は消費税率引き上げ後に落ち込んだ水準、設備投資と輸出は前年度水準から抜け出せないままとなりました。

このような経済環境のもと、当社グループでは中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」に基づく施策を推し進め、経営課題の解決と経営目標の達成に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高は4期連続の増収となりましたが、前年同期比では増収減益となりました。

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 当社グループにおける業界別セグメントの成績は、**鉄鋼業界、自動車業界、電子・半導体業界、紙パルプ業界が増収を達成しました。**

鉄鋼業界向けでは、設備の課題解決として、製鉄所内の水処理設備向け自動ろ過器と仕切弁の受注獲得、水素設備の補修工事などが売上増に貢献しました。この結果、売上高は108億41百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

自動車業界向けでは、合理化・省力化に資する提案営業に努めたことで、自動車部品メーカー向け洗浄機に関する引き合いが強かったほか、自動車メーカー向け残渣測定装置の販売などが売上増に貢献しました。この結果、売上高は83億61百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、半導体メーカー向け洗浄装置の売上が伸長したほか、半導体関連工場へのメンテナンスビジネスの提供を本格化するなど、新たな足がかりを

築くことができました。この結果、売上高は34億41百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、タイヤ加硫機用バルブ及び関連機器の販売が伸び悩んだことから、売上高は25億75百万円(前年同期比19.9%減)となりました。

高機能材業界向けでは、真空ポンプ等の販売が伸び悩んだことから、売上高は11億26百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

環境業界向けでは、水質関連で造水装置機器向け逆浸透膜の販売が売上を押し上げたものの、ジャバラや自社製回転継手の落ち込みを補うには至らず、売上高は15億64百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

紙パルプ業界向けでは、製紙会社向けヒートポンプユニットや原料ポンプの販売が伸び、売上増に貢献しました。この結果、売上高は6億99百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

Corporate Identity

培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



R 自社ブランド「ROCKY」の頭文字

I INDUSTRY(工業/産業)の頭文字

X 無限の可能性と将来性

リックスの青色
信頼を表すブルー

リックスの赤色
躍動感あふれるレッド

Q 中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」の最終年度の見通しなどについて教えてください。

A 顧客の課題解決・高付加価値提案営業に尽力し、経営目標の達成に向けて邁進してまいります。

世界の産業界に貢献するグローバルニッチトップの企業グループとして成長を果たすべく、当社グループは中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」を推進しております。

世界経済を展望しますと、米国や欧州経済圏は引き続き景気の拡大傾向を維持すると考えられますが、米国新政権の政策運営や欧州のBREXITに伴う環境の変化等の懸念は残ります。中国ではインフラ投資の拡大や輸出の持ち直しが見られることから、世界経済全体では緩やかな成長を維持するとみられます。一方、国内経済は企業業績の改善を背景に、設備投資の底堅い推移や実質所得の増加による個人消費の持ち直しにより、緩やかな成長が続くと予想されます。

当社グループといたしましては、厳しい経営環境下にあると言えますが、顧客の課題解決・高付加価値提案営業に尽力し、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」に掲げる経営目標の

達成に向けて邁進してまいります。

以上のことから、平成30年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高358億円(前年同期比6.0%増)、営業利益19億円(同13.3%増)、経常利益20億円(同12.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億200百万円(同12.2%増)を見込んでおります。

Q 株主還元の状態など株主様へのメッセージをお願いします。

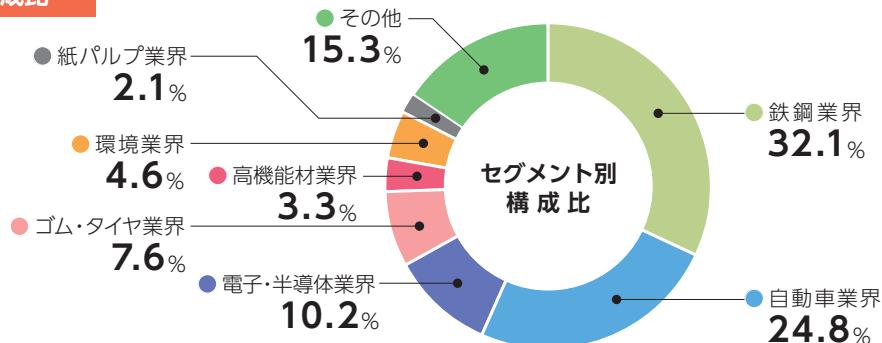
A 年間配当は前年よりも4円増配となる1株当たり34円とさせていただきます。

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっております。

当期の1株当たり配当金につきましては、中間配当15円に期末配当19円を加えた年間34円とさせていただきます。

株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

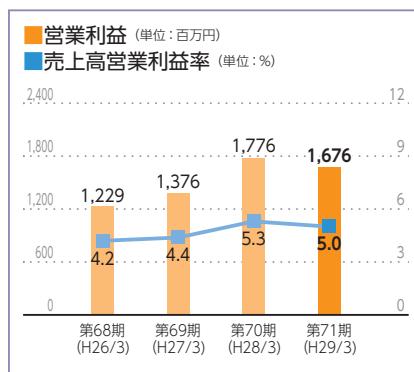
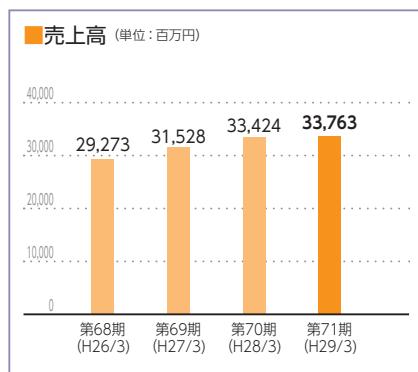
セグメント別構成比



連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期 (平成28年3月31日現在)	当期 (平成29年3月31日現在)	科目	前期 (平成28年3月31日現在)	当期 (平成29年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	17,664	18,809	流動負債	10,943	11,540
固定資産	6,131	6,766	固定負債	1,416	1,477
有形固定資産	2,711	3,053	負債合計	12,360	13,017
無形固定資産	109	116	純資産の部		
投資その他の資産	3,310	3,596	株主資本	10,290	11,132
資産合計	23,795	25,576	資本金	827	827
			資本剰余金	683	683
			利益剰余金	9,185	10,027
			自己株式	△406	△406
			その他の包括利益累計額	608	803
			非支配株主持分	535	622
			純資産合計	11,434	12,558
			負債・純資産合計	23,795	25,576



連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	前期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	33,424	33,763
売上原価	26,286	26,516
売上総利益	7,138	7,247
販売費及び一般管理費	5,362	5,570
営業利益	1,776	1,676
営業外収益	164	140
営業外費用	24	34
経常利益	1,915	1,782
特別利益	2	38
特別損失	6	100
税金等調整前当期純利益	1,911	1,720
法人税等	733	569
当期純利益	1,177	1,151
非支配株主に帰属する当期純利益	50	63
親会社株主に帰属する当期純利益	1,126	1,087

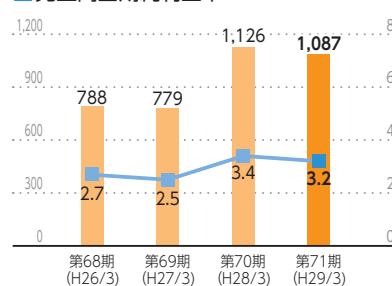
連結包括利益計算書 (単位: 百万円)

科目	前期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
当期純利益	1,177	1,151
その他の包括利益	△574	225
その他有価証券評価差額金	△502	252
為替換算調整勘定	△49	△70
退職給付に係る調整額	△20	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
包括利益	602	1,376
(内 訳)		
親会社株主に係る包括利益	608	1,282
非支配株主に係る包括利益	△6	94

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	前期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	796	1,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△819	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	△706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	255	521
現金及び現金同等物の期首残高	2,172	2,687
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	260	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,687	3,209

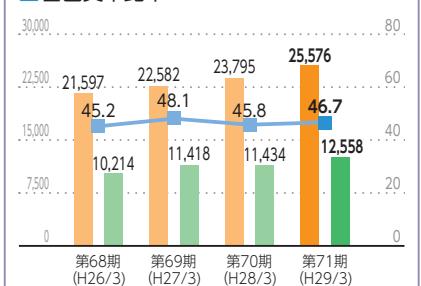
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)
■ 売上高当期純利益率 (単位: %)



■ 1株当たり当期純利益 (単位: 円)
■ 1株当たり純資産 (単位: 円)



■ 総資産 ■ 純資産 (単位: 百万円)
■ 自己資本比率 (単位: %)



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な

経営課題となっております。

当社グループは、2015年度より中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2017』を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

● **戦略ビジョン2017**
2015年度～2017年度

戦略ビジョン2017 (2015年度～2017年度)

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップしながら、高付加価値を創り出し、各々の分野のナンバーワン企業顧客に、提供できるグローバルニッチトップのグローバル企業集団を目指します。

経営目標

経常利益**20億円**(連結)の達成

● 事業方針

1 メーカー商社のビジネスモデルの進化

- 1) 営業プロセス改革・生産プロセス改革の継続
- 2) 顧客接点でのメーカーの対応能力の強化
- 3) リックスグループ企業の協働を通じた結束の強化
- 4) 新事業開発・新製品開発・新市場開発の推進

2 海外事業展開の促進

- 1) 欧米を含むグローバルな拠点展開
- 2) アジア地域における適正規模での黒字化

3 人と組織の能力向上

- 1) 企画機能の向上と全社的な統合
- 2) 社内制度・ルール・教育体系の根本的な見直し
- 3) 計画的・継続的な人材育成

新技術『Auto Flush』を開発しました

リックスのロータリージョイントは、工作機械業界ではマシニングセンターなど高速回転するドリル等の先端からクーラント液(水溶性切削液)を噴射して切削部分を冷却、潤滑するために使用されており、液漏れを防ぎつつ固定部から回転部を繋ぐ要素製品です。

国内外の大手工作機械メーカー様よりリックス製品の信頼性を高く評価していただいております。標準品として採用していただいております。

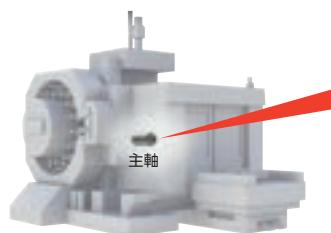
ロータリージョイントのトラブル発生率は非常に低いのですが、加工機のクーラント液等の使用環境によっては、ロータリージョイント内部でスラッジが堆積し、シール性能が損なわれる「固着トラブル」を引き起こす場合があります。これを改善するために、リックスでは新技術『Auto Flush』を開発いたしました(国内外特許取得済)。

『Auto Flush』とは、ロータリージョイントの内部部品の特殊構造により、主流によって生じる内部流が、ロータリージョイントの内部流路を洗浄する(スラッジの堆積を防ぐ)機能です。

これにより固着によるトラブルの可能性を大幅に低減させました。

リックスでは、この『Auto Flush』機能を搭載したロータリージョイントの機種を拡大し、機械加工の更なる高効率化、高精度化の実現に貢献していきます。

マシニングセンター(概略)

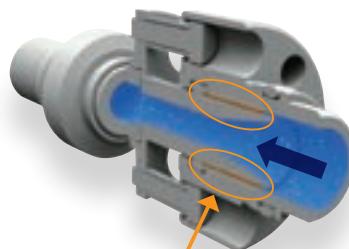


リックス製 工作機械用ロータリージョイント



『Auto Flush』機能説明

一般的なロータリージョイント



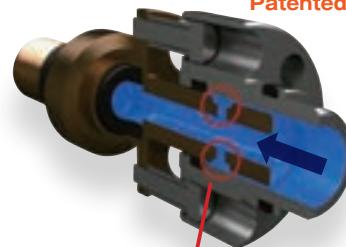
スラッジが摺動隙間へ浸入・堆積

↓
固着

↓
R/Jのシール性能低下の可能性が生じる



Patented



スラッジの堆積を抑制!!



当社ホームページにて『Auto Flush』機能をわかりやすく解説した動画を掲載しております。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

http://www.rix.co.jp/product/category/rotary/auto_flush

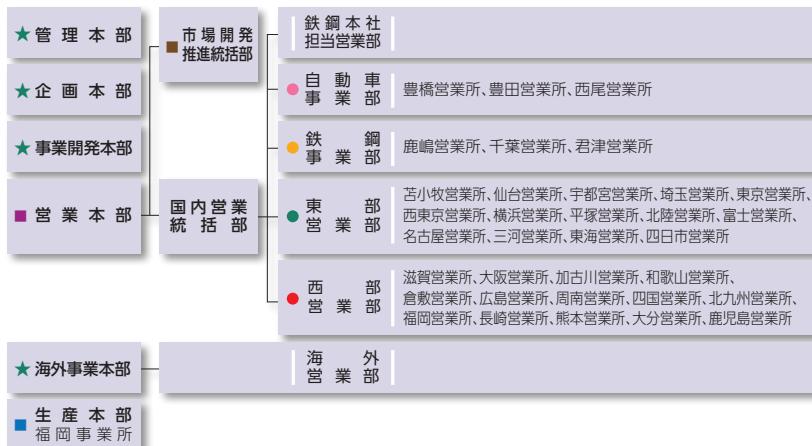
海外ネットワーク (平成29年4月1日現在)



事業所 (平成29年4月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



会社概要 (平成29年3月31日現在)

●商号	リックス株式会社
●英文社名	RIX CORPORATION
●創業	明治40年(1907年)10月
●設立	昭和39年(1964年)5月1日
●資本金	8億2,790万円
●従業員	364名(連結584名)
●主要な事業内容	高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役 (平成29年6月28日現在)

代表取締役社長	松浦 賢治	取締役	伊佐 清人
常務取締役	柿森 英明	取締役	田原 俊二
常務取締役	川久保 昇	取締役(監査等委員)	坂本 克彦
取締役	苅田 透	取締役(監査等委員)	小西 正純 ^(*)
取締役	芹川 康介	取締役(監査等委員)	武藤 靖 ^(*)
取締役	橋本 忠	取締役(監査等委員)	作間 功 ^(*)
取締役	安井 卓		
取締役	江頭 裕明		
取締役	多々良 浩昭		

(*) 社外取締役

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

●発行可能株式総数	27,600,000株
●発行済株式の総数	8,640,000株
●株主数	6,564名
●大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
リックス取引先持株会	528	6.46
安井玄一郎	426	5.22
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リックス従業員持株会	265	3.25
安井龍之助	225	2.75
園田和佳子	172	2.11
山田貴広	166	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	152	1.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	140	1.71

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記大株主のほか、当社は自己株式457千株を保有しております。

株式分布状況 (平成29年3月31日現在)

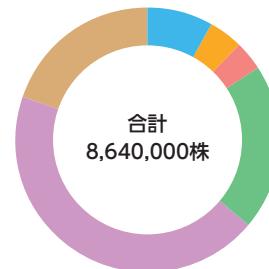
所有者別株式分布状況

■ 個人・その他	53.62%
■ 自己株式	5.29%
■ 金融商品取引業者	1.03%
■ 金融機関	18.73%
■ その他の法人	20.90%
■ 外国法人等	0.43%

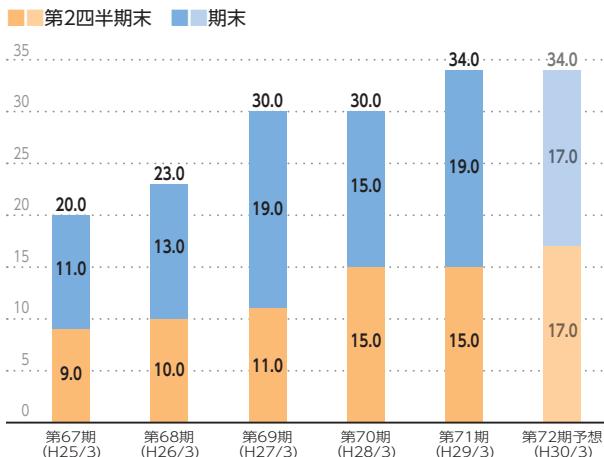


所有株数別株式分布状況

■ 10単元未満	8.07%
■ 10単元以上	4.33%
■ 50単元以上	3.52%
■ 100単元以上	20.36%
■ 1,000単元以上	44.08%
■ 5,000単元以上	19.64%



1株当たり配当金の推移 (単位: 円)



株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <http://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<http://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索



RIX リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。